

# 水稻「天のつぶ（福島9号）」のプロフィール

## 1 育成経過

- 平成7年 母「奥羽357号」×父「越南159号」を交配しました。  
平成10年 「郡系322」の系統番号を付けました。  
平成12年 「福島9号」の地方番号を付けました。  
平成13～17年 水稻奨励品種決定基本調査で試験栽培を行いました。  
平成18～21年 水稻有望系統現地適応性試験で試験をし、育成を完了しました。

## 2 特徴

天のつぶ（福島9号）の熟期は、「ひとめぼれ」と「コシヒカリ」の間である「ふくみらい」並の中生の晩で、県内平坦部向けのウルチ品種です。

「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」に比べて草丈が短いので倒伏ににくく、いもち病にも強い栽培しやすい品種です。

収量性は「ひとめぼれ」よりやや優り、品質の安定した良食味品種です。

- 3 普及対象地域 県内全域の平坦部（標高300m以下）

- 4 育成機関 福島県農業総合センター（福島県郡山市）



写真1 成熟期の天のつぶ（福島9号）  
（平成21年9月17日撮影）



写真2 稈長比較  
（平成22年1月14日撮影）  
（左から、天のつぶ（福島9号）、  
ひとめぼれ、コシヒカリ）